

著者
行秘

般若心経は、 三つの法則を説いている

開始編

般若心経には、
空の思想・真髄等、どこにも書いてない

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・一

仏説摩訶般若波羅蜜多心經・・・・・・・・十一

摩訶般若波羅蜜多心經『解釈』・・・・・・・・十五

觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時

【解釈】・・・・・・・・十五

照見五蘊皆空 度一切苦厄 舍利子

【解釈】・・・・・・・・十七

色不異空 空不異色

【解釈】・・・・・・・・二十一

色即是空 空即是色

【解 釈】 二十六

受想行識 亦復如是 舍利子

【解 釈】 三十

是諸法空相

【解 釈】 三十五

不生不滅 不垢不淨 不增不減

【解 釈】 三十七

是故空中 無色無受想行識

【解 釈】 四十五

無限耳鼻舌身意 無色声香味触法

【解积】 四十七

無眼界乃至 無意識界

【解积】 四十九

無無明亦 無無明尽

【解积】 五十一

乃至無老死 亦無老死尽

【解积】 五十四

無苦集滅道 無智亦無得 以無所得故

【解积】 五十六

菩提薩埵 依般若波羅蜜多故

【解 釈】 五十九

心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖

【解 釈】 六十

遠離一切顛倒夢想 究竟涅槃

【解 釈】 六十二

三世諸佛 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提

【解 釈】 六十五

故知般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪 是無上呪 是無等等呪

【解 釈】 六十八

能除一切苦 真実不虛

【解 釈】 七十

故説般若波羅蜜多呪 即説呪日

【解 釈】 七十二

羯諦羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶

【解 釈】 七十三

中庸・中道とは 七十五

般若心經

【解 釈】 七十六

あとがき 七十七

[illegible]

はじめに

本電子書籍

『般若心経は、三つの法則を説いている!!』開始編

『般若心経の智慧に到達する内観法!!』完結編

に表記されている内容は、著者が、平成九年から、著者の守護霊が、枕元に立ち、色々と四年間ぐらい、教えて下さったものを、著者なりに、構成したものです。

般若心経は、五世紀～六世紀代頃に書かれた書物で在ると言われている。

般若心経が説かれた時代、三点の事を、皆様に教えたくて、教えたくて説かれた書なのですが、【尊い智慧を理解した人が書いた書物】を、智慧に到達してもいない人に、『般若心経を読んで理解しなさい。』

と言っても誰も解らない。

その般若心經を書いた仏様が生きている内は、色々と教えて貰え、理解出来るであろうが、死んだら段々、般若心經の解釈が解らなくなり、仏教徒、もしくは世界の宗教家が難しく考え、難しい書物になって来たと思います。解釈が解っておれば、その書物が在るはずですから、無いという事は、正確に解釈出来なかったのでしょう。

著者も、守護霊に教えて貰わなければ、今でも理解出

来なかったでしょう。

般若心経は、大事な事を、三点説いています。

一点目、二点目が、宇宙の法則の事を説いてあります。

三点目が、親恩なる深い尊い智慧に到達できる為の方法について書いてありますが、果たして、ここ百年の間に親恩なる深い尊い智慧に到達した人は、果たしているのでしょうか？

到達すると、何故、涙が出るのか、考えても理由が、分かりませんが、意味もなく、三十〜四十分位、涙があふれ出て来ます。

これが、智慧に到達した証拠だと著者は、思っています。智慧に到達しようと思った人は、概念を捨てて、何事にもチャレンジして、良い結果を楽しんで下さい。

是非、この開始編を読んで理解して下さいと云うよりも、

要領を理解したら次の完結編を買い進んで下さい。

般若心経は、空の理論とか、空の思想とか、空の真髄などを教えている書物ではありません。

只、【空】とは、人間の目には、見えない存在があると云う事は、何回も何回も教えています。

小学校・中学校で、学んだ事のある人は、すべての人が知っている事です。

この地球上空間にも、この宇宙空間にも、空間という空間には、人間の目には、見えない酸素、窒素、水素などの物体が存在している事を、知っています。

原子として色々な物質が存在している事を知っています。般若心経が書かれた時代に、原子以下の小さな物質・物体が存在している事を教えているのです、凄い事だと思いますか。

だから、般若心経を解釈解説していく中で、皆様が知っている【空】の事を説明しても意味がありません。

無い物だったなら【無】の字を当てていたと思います。

何故、【無】じゃなく【空】の字を当てたのかという事を良く考えてみれば、理解できるはずです。

摩訶般若波羅蜜多心経は、大宇宙の法則を説いた書であり、親恩なる深い尊い智慧に到達できる為の方法が記

載された書物である事は、間違いありません。

ぶつせつまーかーはんにはーらーみつたーしんぎよう

仏説摩訶般若波羅蜜多心經

かんじーざいぼーさつ ぎようじんはんにやはーらーみつたーじー

觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時

しょうけんごーうんかいこう どーいつさいくーやく しゃりーしー

照見五蘊皆空 度一切苦厄 舍利子

しきふーいーくう こうふーいーしき しきそくぜーくう こうそくぜーしき

色不異空 空不異色 色即是空 空即是色

じゆそうぎようしき やくふーによぜー しゃりし

受想行識 亦復如是 舍利子

ぜーしよほうくうそう ふーしょうふーめつ ふーくーふーじよう ふーぞうふーげん

是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減

ぜーこーくうちゅう

むーしきむーじゅそうぎようしき

むーげんにーびーぜっしんいー

是故空中

無色無受想行識

無限耳鼻舌身意

むーしきしょうこうみーそくほう

むーげんかないないしー

むーいーしきかい

無色声香味触法

無眼界乃至

無意識界

むーむーみようやく

むーむーみようじん

無無明亦無無明尽

ないしー

むーろうしー

やくむーろうしーじん

むーくーしゅうめつどう

乃至無老死亦無老死尽無苦集滅道

むーちーやくむーとく

いーむーしよとくこー

ぼーだいさつたー

無智亦無得以無所得故菩提薩埵

えーはんにゃはーらーみつたーこー

依般若波羅蜜多故

しんむーけーげー

むーけいげーこー

むーうーくーふー

おんりーいつさいてんどうむーそう

心無罣礙

無罣礙故

無有恐怖

遠離一切顛倒夢想

くーぎようねーはん

さんぜいしよぶつ

えーはんにはーらーみつたーこー

究竟涅槃

三世諸仏

依般若波羅蜜多故

とくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだい

こーちーはんにはーらーみつたー

得阿耨多羅三藐三菩提

故知般若波羅蜜多

ぜーだいじんしゅう

ぜーだいみようしゅう

ぜーむーじようしゅう

ぜーむーとうどうしゅう

是大神呪

是大明呪

是無上呪

是無等等呪

のうじょいつさいくー

しんじつふこー

こーせつはんにはーらーみつたーしゅう

能除一切苦

真実不虛

故説般若波羅蜜多呪

そくせつしゅうわー

即説呪日



ぎやていぎやてい
羯諦羯諦
はんやんぎよう
般若心経

はーらーぎやてい
波羅羯諦

はーらーそうぎやてい
波羅僧羯諦

ぼーじーそーわーかー
菩提薩婆訶

ぶつせつまーかーはんにはーらーみつたーしんぎよう
「かいしやく」
仏説摩訶般若波羅蜜多心經 『解釈』

かんじーざいぼーさつ ぎようじんはんにやはーらーみつたーじー
觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時

かいしやく
【解釈】

わたし しんおん ふか とうと ちえ とうたつ ため こんじよう
私は、親恩なる、深い尊い智慧に到達する為に、今生

の自分の在りあのままを見つめた。